

体表解剖学研究会主催  
肩の触診に自信を持つポイント  
—臨床に役立つ肩関節周辺の解剖学と触察技術—

日時：平成 27 年 3 月 15 日（日） 10:00～16:00

会場：東京工科大学蒲田キャンパス 12 号館 5 階 PT・OT 実習室

<http://www.teu.ac.jp/campus/access/006644.html>

内容：リハビリテーション医療に携わるセラピストにとって不可欠な、視診や触診の能力を高めるためには、正確な解剖学的知識とそれに基づく触察技術を身につける必要があります。そこで本セミナーでは、肩関節周辺の臨床的に重要な構造や位置等を理解し、触察技術と触察感を学びます。このセミナーを通して、日々の臨床に役立つ解剖学の知識を身につけ、実践に役立つ触察能力を高めます。

プログラム：

1. 筋の形と触察法総論
2. 肩に関わる解剖講義と触察実習
  - 1) 肩関節を構成する骨や関節包の解剖学的特徴と触察のポイント
  - 2) 肩およびその周囲の筋の解剖学的特徴と触察のポイント（僧帽筋、肩甲挙筋、斜角筋、三角筋、棘上筋、棘下筋、小円筋、大円筋、広背筋、大・小菱形筋、肩甲下筋、上腕二頭筋長頭）

\*それぞれの構造、位置、バリエーションについての講義を行った後、触察に必要なポイントについて講義します。触察技術を体験し、触察感を体感していただきます（被検者は当方で準備します。受講される先生方は被検者になっていただく必要はありません）。

\*さらに超音波画像診断装置（エコー）を用いて、触察している組織や器官が何であるかを検証することも可能です。
3. まとめ

講師：河上敬介（名古屋大学大学院）、青野正宏（アオノ治療院）、菅原仁（東京工科大学）、乙戸崇寛（埼玉医科大学）、三浦達浩（植草学園大学）、一條幹史（湘南鎌倉総合病院）、菅原浩太（そはら整形外科）、粕谷亨（株式会社ゴルディロックス）、小泉香織（松戸整形外科）、佐々木晃子（松戸整形外科） 予定

テキスト：当日配布いたします。

参考書籍：改訂第2版 骨格筋の形と触察法（著：河上敬介・磯貝香 大峰閣）

※必須ではありませんが、上記の書籍をお持ち頂けると骨格筋の触察時に役立ちます。

※参考書籍は、当日会場でも購入して頂くことが可能です。定価 12,600 円が 11,000 円で購入できます。

対象：理学療法士・作業療法士・医師・柔道整復師・あん摩マッサージ指圧師  
はり師・きゅう師 等

定員：70名（先着順）※定員になり次第受付を終了します。

受講料：5,000円

※お申し込み後に当研究会よりお振り込み先等についてご連絡いたします。なお、振り込み後のキャンセルはできませんのでご注意ください。

お申し込み方法：

体表解剖学研究会ホームページ（ <http://surface-anat.com/guide01.html> ）よりお申し込み下さい。

問い合わせ先：

体表解剖学研究会 担当 菅原 仁  
東京工科大学医療保健学部理学療法学科内

E-mail : [taihyoukaibou\\_tokyo@hotmail.co.jp](mailto:taihyoukaibou_tokyo@hotmail.co.jp)

※問い合わせはE-mail でお願ひ致します。件名は以下のようにお願い致します。

「肩の触診に自信を持つポイント 問い合わせ」